



# 2017年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2016年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 2016年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2017年3月期第1四半期の連結業績(2016年4月1日～2016年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年3月期第1四半期	389,252	△12.7	29,789	△40.1	24,202	△52.5	15,588	△52.1
2016年3月期第1四半期	446,103	△3.1	49,713	△21.7	50,937	△17.0	32,530	△13.7

(注) 四半期包括利益 2017年3月期第1四半期 △81,821百万円 (—%) 2016年3月期第1四半期 60,025百万円 (127.3%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2017年3月期第1四半期	16.54	16.52
2016年3月期第1四半期	34.52	34.47

### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2017年3月期第1四半期	2,419,405	1,478,133	1,414,588	58.5	1,500.56
2016年3月期	2,614,654	1,587,760	1,517,414	58.0	1,609.69

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2016年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2017年3月期	—	—	—	—	—
2017年3月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2017年3月期の連結業績予想(2016年4月1日～2017年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,685,000	△9.2	150,000	△28.1	145,000	△29.2	92,000	△33.1	97.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は添付資料5ページ「(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更/会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2017年3月期1Q	971,967,660 株	2016年3月期	971,967,660 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2017年3月期1Q	29,261,446 株	2016年3月期	29,292,304 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2017年3月期1Q	942,686,613 株	2016年3月期1Q	942,400,247 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
（1）四半期連結貸借対照表	P. 6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 10
（5）セグメント情報	P. 10
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2019年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide -Growth Toward Our 100th Anniversary (2021) and Beyond-」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2017年3月期第1四半期（2016年4月1日から2016年6月30日まで）の連結売上高は3,892億円（前年同期比12.7%減）となりました。建設機械・車両部門では、「伝統市場」の北米、欧州において一般建設機械の需要を着実に取り込んだものの、円高の影響に加え、主に中近東およびインドネシアなどの「戦略市場」において建設・鉱山機械の需要の低迷により本体および部品の販売量が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。リテールファイナンス部門では、円高の影響ならびに中国およびオセアニアなどの資産の減少により、売上げは前年同期を下回りました。産業機械他部門では、主に自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

利益につきましては、引き続き固定費の削減や販売価格の改善などに取り組んだものの、円高の影響および建設機械・車両部門の販売量減少に加え、特に当四半期に再生部品の在庫の評価減とリテールファイナンス部門において中国で追加引き当てを行ったため、営業利益は297億円（前年同期比40.1%減）となりました。売上高営業利益率は前年同期を3.4ポイント下回る7.7%、税引前四半期純利益は242億円（前年同期比52.5%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は155億円（前年同期比52.1%減）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [ A ] 1ドル = 121.3円 1ユーロ = 133.0円 1元 = 19.6円	当第1四半期 連結累計期間 [ B ] 1ドル = 109.8円 1ユーロ = 124.3円 1元 = 16.9円	増減率 % [ (B-A) / A ]
<b>売上高</b>	446,103	<b>389,252</b>	△ 12.7
建設機械・車両	392,378	345,166	△ 12.0
リテールファイナンス	13,813	11,863	△ 14.1
産業機械他	44,732	34,775	△ 22.3
消去	△ 4,820	△ 2,552	-
<b>セグメント利益</b>	49,601	<b>29,000</b>	△ 41.5
建設機械・車両	42,435	26,387	△ 37.8
リテールファイナンス	3,765	1,885	△ 49.9
産業機械他	3,269	1,708	△ 47.8
消去又は全社	132	△ 980	-
<b>営業利益</b>	49,713	<b>29,789</b>	△ 40.1
<b>税引前四半期純利益</b>	50,937	<b>24,202</b>	△ 52.5
<b>当社株主に帰属する四半期純利益</b>	32,530	<b>15,588</b>	△ 52.1

(注)1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

**【建設機械・車両】**

建設機械・車両部門の売上高は3,451億円（前年同期比12.0%減）、セグメント利益は263億円（前年同期比37.8%減）となりました。

2015年2月から日本で展開している建設現場向けソリューション事業「スマートコンストラクション」については、レンタルでの取り扱いに加え、本年4月より販売を開始しました。また、更なる普及のため、お客様に実際に体感いただき、より深く理解していただくための施設を増設しました。更に、7月にはコマツのクラウド型プラットフォーム「KomConnect」上で施工現場の地盤リスクを診断する新サービスの提供を開始するなど、スマートコンストラクションのサービス向上に注力しました。

今後成長が見込まれるメキシコでは販売体制を強化するため、建設機械と鉱山機械の双方をカバーする販売会社の運営を本年4月より始めました。

なお、本年7月21日に公表のとおり、コマツの主要事業である鉱山機械事業の体制を大幅に拡充するため、ジョイ・グローバル社の買収を決定しました。今後、ジョイ・グローバル社の株主総会における承認、関連する国において必要となる承認取得を経た上で、2017年半ばを目処に本買収を完了する予定です。本買収が当期の連結業績に与える影響はありません。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [ A ]	当第1四半期 連結累計期間 [ B ]	増 減	
			金 額 [ B-A ]	増減率 % [ (B-A)/A ]
日本	67,562	59,657	△ 7,905	△ 11.7
北米	75,848	75,641	△ 207	△ 0.3
中南米	58,462	49,027	△ 9,435	△ 16.1
米州	134,310	124,668	△ 9,642	△ 7.2
欧州	37,524	35,820	△ 1,704	△ 4.5
CIS	11,563	15,603	4,040	34.9
欧州・CIS	49,087	51,423	2,336	4.8
中国	18,634	18,733	99	0.5
アジア(※)	52,611	40,246	△ 12,365	△ 23.5
オセアニア	25,674	24,049	△ 1,625	△ 6.3
アジア(※)・オセアニア	78,285	64,295	△ 13,990	△ 17.9
中近東	17,292	9,195	△ 8,097	△ 46.8
アフリカ	23,781	15,462	△ 8,319	△ 35.0
中近東・アフリカ	41,073	24,657	△ 16,416	△ 40.0
合計	388,951	343,433	△ 45,518	△ 11.7

(注)1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1)建設機械・車両、2)産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1)建設機械・車両、2)リテールファイナンス、3)産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. (※)「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

#### <日本>

レンタル業界向けを中心に新排出ガス規制関連の需要が一巡した影響を受け、売上げは前年同期を下回りました。

#### <米州>

北米では、米国の一般ユーザの需要は引き続き堅調に推移したものの、カナダのエネルギー分野向けなどの需要の低迷に加え、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期並でした。

中南米では、ブラジルなどで建設・鉱山機械の需要が低調に推移したことに加え、一部のお客様において鉱山機械の修理およびメンテナンスの延期が発生したことから、売上げは前年同期を下回りました。

#### <欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツを中心に需要が堅調であることに加え、昨年度に買収したドイツのアクセサリーメーカー「レンホフ」社の新規連結の効果もあったものの、為替が円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

CISでは、金鉱山を中心に鉱山向け需要が増加し、売上げは前年同期を大きく上回りました。

#### <中国>

引き続き需要は減少したものの、お客様のニーズにあった車両の仕様拡充を行うと共に販売拡大に努めた結果、売上げは前年同期並でした。

#### <アジア・オセアニア>

アジアでは、インフラ投資が好調なインドで需要を取り込むことができたものの、最大市場であるインドネシアで石炭の減産に伴い鉱山機械の本体および部品の販売が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

オセアニアでは、鉱山機械の部品、サービスの需要を着実に取り込んだものの、為替が円高に推移したことから、売上げは前年同期を下回りました。

#### <中近東・アフリカ>

中近東では、原油安などの影響により湾岸諸国の需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

アフリカでは、主要市場である南アフリカの鉱山向け需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

#### 【リテールファイナンス】

リテールファイナンス部門では、円高の影響ならびに中国およびオセアニアなどの資産の減少により、売上高は118億円（前年同期比14.1%減）となりました。中国での追加引当金の計上などに伴い、セグメント利益は18億円（前年同期比49.9%減）となりました。

#### 【産業機械他】

産業機械他部門では、ワイヤーソーの販売が大きく伸長したものの、自動車業界向けの鍛圧機械および工作機械の販売が減少したことに加え、旧コマツハウス（株）（現（株）システムハウスアールアンドシー）の連結除外による影響などにより、売上高は347億円（前年同期比22.3%減）となりました。セグメント利益は17億円（前年同期比47.8%減）となりました。

コマツ産機（株）では、自動車関連の設備投資が旺盛なメキシコにおいてアフターマーケット体制の強化

を図るため、プレス・鍛圧機械の新たなサービス拠点の運営を本年4月より始めました。ギガフォトン（株）では、半導体リソグラフィ以外の新分野への参入を狙い、液晶製造工程などで使用可能な新型エキシマレーザー「GIGANEX」を開発しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第1四半期連結会計期間末は、米ドル、ユーロ、人民元などに対して為替が前期末に比べ円高となったことに加え、受取手形及び売掛金の回収が進んだことにより、総資産は前期末に比べ1,952億円減の2兆4,194億円となりました。有利子負債残高は前期末に比べ265億円減の4,310億円となりました。また、株主資本は外貨換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ1,028億円減の1兆4,145億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ0.5ポイント増の58.5%となりました。

＜キャッシュ・フロー＞

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益160億円に加え、受取手形及び売掛金の回収などにより、459億円の収入（前年同期比151億円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、245億円の支出（前年同期比141億円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、251億円の支出（前年同期は196億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ3億円減少し、1,059億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本年4月27日に公表しました2017年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当連結会計年度より、会計基準アップデート2015-16「企業結合—測定期間中の修正に関する会計処理の簡素化」を適用しています。同アップデートは、企業結合が完了した後の会計期間（測定期間）中の修正について、財務諸表を遡及修正する規定を削除し、その修正金額が確定した報告期間に認識することを要求しています。当第1四半期連結累計期間においては、同アップデートの適用による当社の財政状態および経営成績への影響はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2016年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2016年6月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	106,259		105,941	
定期預金	2,212		2,314	
受取手形及び売掛金	583,390		502,706	
たな卸資産	539,611		524,292	
売却予定資産	13,388		—	
繰延税金及びその他の流動資産	141,593		136,820	
流動資産合計	1,386,453	53.0	1,272,073	52.6
長期売上債権	291,923	11.2	265,659	11.0
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	28,123		27,342	
投資有価証券	51,590		46,860	
その他	2,640		2,298	
投資合計	82,353	3.2	76,500	3.2
有形固定資産	697,742	26.7	656,269	27.1
営業権	40,005	1.5	38,170	1.6
その他の無形固定資産	63,056	2.4	59,320	2.4
繰延税金及びその他の資産	53,122	2.0	51,414	2.1
資産合計	2,614,654	100.0	2,419,405	100.0



区分	前連結会計年度末 (2016年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2016年6月30日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	144,552		156,473	
長期債務				
－1年以内期限到来分	100,364		92,243	
支払手形及び買掛金	205,411		187,020	
未払法人税等	29,310		20,446	
売却予定負債	7,057		—	
繰延税金及びその他の流動負債	214,200		195,897	
流動負債合計	700,894	26.8	652,079	26.9
固定負債				
長期債務	212,636		182,293	
退職給付債務	67,972		64,474	
繰延税金及びその他の負債	45,392		42,426	
固定負債合計	326,000	12.5	289,193	12.0
負債合計	1,026,894	39.3	941,272	38.9
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,243		138,187	
利益剰余金				
利益準備金	44,018		45,353	
その他の剰余金	1,300,030		1,286,929	
その他の包括利益（△損失）累計額	18,667		△ 72,390	
自己株式	△ 51,414		△ 51,361	
株主資本合計	1,517,414	58.0	1,414,588	58.5
非支配持分	70,346	2.7	63,545	2.6
純資産合計	1,587,760	60.7	1,478,133	61.1
負債及び純資産合計	2,614,654	100.0	2,419,405	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（第1四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 6月30日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	446,103	100.0	389,252	100.0
売上原価	312,477	70.0	279,517	71.8
販売費及び一般管理費	84,025	18.8	80,735	20.7
その他の営業収益（△費用）	112	0.0	789	0.2
営業利益	49,713	11.1	29,789	7.7
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	1,046	0.2	1,025	0.3
支払利息	△ 2,497	△ 0.6	△ 1,958	△ 0.5
その他（純額）	2,675	0.6	△ 4,654	△ 1.2
合計	1,224	0.3	△ 5,587	△ 1.4
税引前四半期純利益	50,937	11.4	24,202	6.2
法人税等	17,583	3.9	9,215	2.4
持分法投資損益調整前四半期純利益	33,354	7.5	14,987	3.9
持分法投資損益	397	0.1	1,104	0.3
四半期純利益	33,751	7.6	16,091	4.1
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	1,221	0.3	503	0.1
当社株主に帰属する四半期純利益	32,530	7.3	15,588	4.0
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	34.52 円		16.54 円	
希薄化後	34.47 円		16.52 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 6月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	33,751	16,091
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	27,083	△ 96,312
未実現有価証券評価損益	△ 1,079	△ 3,526
年金債務調整勘定	241	723
未実現デリバティブ評価損益	29	1,203
合計	26,274	△ 97,912
四半期包括利益（△損失）	60,025	△ 81,821
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	2,519	△ 6,352
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	57,506	△ 75,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期 連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年 6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年 6月30日
	金額（百万円）	金額（百万円）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
四半期純利益	33,751	16,091
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	27,727	26,736
法人税等繰延分	7,152	1,803
投資有価証券売却損益及び減損	△ 2,895	△ 125
有形固定資産売却損益	△ 121	△ 385
固定資産廃却損	575	449
未払退職金及び退職給付債務の増減	△ 377	332
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	28,478	45,886
たな卸資産の増減	△ 1,966	△ 30,035
支払手形及び買掛金の増減	△ 17,728	△ 11,329
未払法人税等の増減	△ 19,895	△ 8,741
その他（純額）	6,397	5,308
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	61,098	45,990
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の購入	△ 45,781	△ 33,936
固定資産の売却	4,064	3,646
売却可能投資有価証券等の売却	4,174	511
売却可能投資有価証券等の購入	△ 122	△ 1
子会社及び持分法適用会社株式等の売却（現金流出額との純額）	—	5,485
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 887	—
貸付金の回収	73	3
定期預金の増減（純額）	△ 301	△ 305
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 38,780	△ 24,597
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	80,860	35,694
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 35,841	△ 42,382
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	△ 36,117	9,200
キャピタルリース債務の減少	△ 186	△ 17
自己株式の売却及び取得（純額）	67	△ 2
配当金支払	△ 27,345	△ 27,354
その他（純額）	△ 1,068	△ 329
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 19,630	△ 25,190
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 1,112	3,479
現金及び現金同等物純増減額	1,576	△ 318
現金及び現金同等物期首残高	105,905	106,259
現金及び現金同等物四半期末残高	107,481	105,941

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	388,951	13,052	44,100	446,103	—	446,103
(2) セグメント間の内部売上高	3,427	761	632	4,820	△ 4,820	—
計	392,378	13,813	44,732	450,923	△ 4,820	446,103
セグメント利益	42,435	3,765	3,269	49,469	132	49,601

当第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	343,433	11,305	34,514	389,252	—	389,252
(2) セグメント間の内部売上高	1,733	558	261	2,552	△ 2,552	—
計	345,166	11,863	34,775	391,804	△ 2,552	389,252
セグメント利益	26,387	1,885	1,708	29,980	△ 980	29,000

(注) 1. 前連結会計年度まで事業セグメントを1) 建設機械・車両、2) 産業機械他の二つに区分していましたが、意思決定単位の見直しに伴い、当第1四半期連結累計期間よりセグメント区分を1) 建設機械・車両、2) リテールファイナンス、3) 産業機械他の三つに変更しています。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に組替えて表示しています。

2. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、

エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

3. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年6月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・ オセアニア	中近東・ アフリカ	連結
前第1四半期連結累計期間	85,724	154,835	53,096	24,377	86,795	41,276	446,103
当第1四半期連結累計期間	75,077	136,870	54,804	26,897	70,932	24,672	389,252

※ 日本及び中国を除きます。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。